

【地域看護学研究室】

修士課程(実践者養成)広域看護学コース

大学院修士課程における保健師教育を2011年度から開始しました。日本で最初です。

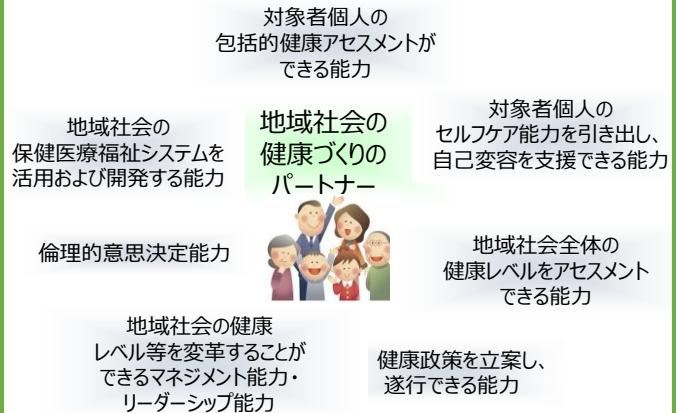
社会環境の変化に伴って保健師の役割が拡大し、専門性の強化が一層求められています。保健師は「地域社会の健康づくりのパートナー」として人びとのQOLの向上に資する保健活動を担う使命があり、科学的根拠に基づいて実践を行う能力が求められます。少子高齢社会における生活者の健康づくり、産業や学校における健康づくりの担い手として力を発揮していく必要があり、その礎を築くために修士課程での保健師教育が重要です。

【高度な判断力と実践力を修得できるカリキュラム】

- ◆ 保健師専門科目**27科目50単位**
(指定規則31単位+19単位)
- ◆ 地域社会の課題を見出して対応することを可能にするための**分析と統合の能力**の強化
- ◆ 「**個から地域社会全体、地域社会全体から個をみる**」という保健師特有の能力の強化
- ◆ 保健師の活動に必要な**施策化に関する理論**等を修得
- ◆ **保健師の裁量範囲の拡大**を目指した科目等も学修
- ◆ 臨地実習重視 (3タイプ、計11単位)
 - (1) 地域生活支援実習
 - (2) 地域マネジメント実習
 - (3) 広域看護活動展開実習



【めざす保健師像と保健師に必要な能力】



【確実に力を育む実習プログラム】



地域生活支援実習

個人・家族支援能力
半年間、継続して家庭訪問することで、個人・家族に寄り添い、地域で生活することを支える力をつける。(市町村)



地域マネジメント実習

地域看護診断・活動展開力
地域や文化特性を診断し、特性に応じて活動できる力をつける。(市町村)



広域看護活動展開実習

公衆衛生看護管理・政策形成力
地域社会全体のQOLを向上させる研究能力をつける。(保健所)

優れた思考力
高度な判断力
確かな実践力

保健師国家試験

2年生

課題研究



連携協力に関する包括協定

- ・大分県国民健康保険団体連合会 (2013年3月15日調印)
- ・全国健康保険協会大分支部 (2015年3月20日調印)



【今後に向けて】

修了性は、九州圏内を中心に各地で保健師として活躍しています。地域社会の健康を取り巻く課題は、ますます多様化・複雑化することが推察されます。それらの課題解決に寄与できる、優れた思考力・高度な判断力・確かな実践力を備えた保健師を養成することが使命です。

【修了生の主な活躍の場】

- ◆ **都道府県保健所・県庁等**
大分県、長崎県、鹿児島県、佐賀県、大阪府
- ◆ **市町村保健センター・市役所等**
県内：大分市、別府市、津久見市、臼杵市、竹田市、宇佐市、中津市、豊後高田市
県外：豊前市、長崎市、浜松市、大和市
- ◆ **健診センター** 総合健診センター
- ◆ **医療機関** 訪問看護ステーション、病院
- ◆ **事業所等** 大分県国民健康保険団体連合会



公立大学法人 大分県立看護科学大学

Oita University of Nursing and Health Sciences